

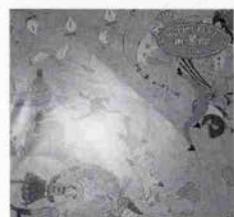


95年ハイカラ博での神戸夢探訪のようす

## NEWSWEETS

### ★神戸新夢探訪の洋菓子コンテスト開催

兵庫県洋菓子協会では「ブリスベーン・イン・ジャパン」を使った洋菓子コンテストの開催を決定した。このコンテストは神戸市と大手洋菓子メーカー7社（本高砂屋、コスモボリタン製菓、神戸風月堂、ゴンチャロフ製菓、ドン



統一の包装紙



一を使って、神戸の新しい洋菓子を生み出し、全国に発信しようというのだ。

コンテストは6月5日（木）に野村証券（株）神戸支店にて。参加資格は兵庫県洋菓子協会会員。1位と2位はオーストラリア・ブリスベーン旅行に招待される。

■お問い合わせ・お申し込み  
兵庫県洋菓子協会

☎ 078・871・5938

### ★高架下に海賊登場！

生田筋沿いの高架下にヌッとした顔を出している海賊は、4月18日にオーブンしたばかりの神戸ベルグループ直営「ファンタジーア・ビアレストラン・

海賊キッチン」。

海賊たちの洞窟の住み家をイメージした店内に入ると、まず、海賊キッチ

（1バッカ）を最初に企画された。神戸夢探訪は神戸の洋菓子メーカーが神戸ブランドの洋菓子を全国に向け発信するために、統一の包装紙に包んで販売。包装紙のデザインは全国に公募し、長田区の女性の作品が選ばれた。今回の「新夢探訪」では神戸港の姉妹港、オーストラリア・ブリスベーンから

（2000円（24



■海賊キッチン  
神戸市中央区北長狭通1-13  
営業時間 11時～14時30分  
17時30分～22時30分  
☎ 078・392・0555

（84円）に海賊島銀行でお金を換金しなければならない。1人

（1バッカ）を最初に企画された。神戸夢探訪は神戸の洋菓子メーカーが神戸ブランドの洋菓子を全国に向け発信するために、統一の包装紙に包んで販売。包装紙のデザインは全国に公募し、長田区の女性の作品が選ばれた。今回の「新夢探訪」では神戸港の姉妹港、オーストラリア・ブリスベーンから

（2000円（24



高架下にお店があるので柱はそのまま

## PEOPLE

### ★男性も和装できめる

#### 和食堂「山里」

ホテルオークラ神戸に  
ある日本料理レストラン  
「山里」では、マネージ  
ャー奥田悦久氏が、和装  
のユニフォームを着用。  
女性の中居さんの着物姿  
は、珍しくないが、男性  
マネージャーの凛々しい  
姿は、和装できることを示す  
もの。

和感を与えないためと  
か。着付けがだらしない  
わよ！なんて逆にお客様  
からアドバイスを受ける  
など、まだまだ綺麗に着  
こなすまでいかなくて…  
とは、奥田氏。いえいえ、  
趣味で能を舞われている  
氏の和装姿は、なかなか  
堂に入つておりました。

● UCCから「コーヒー」  
のつぶやき 発刊  
UCC上島珈琲から「コ  
ーヒーのつぶやき(独白)」  
が発刊された。著者は U  
CCの相談役、木村隆吉  
氏。社内報「カフエテラ  
ス」に83回にわたって執  
筆したものをエッセイ風  
にまとめ加筆されたもの  
である。

木村氏は平成8年に取  
締役副会長を辞任するま  
での40年あまり、コーヒ  
ーの輸入、貿易業務を担  
当。コーヒーをさまざま  
な角度からとりあげた工  
ッセイはわかりやすく奥  
深い内容となつていて、  
●モロゾフの社長に石原  
建男専務が就任  
モロゾフは3月24日、  
石原建男専務の社長昇格  
を発表。橋本康司社長は  
会長に、松宮隆男会長は  
相談役に就任した。

## TOPICS

深い内容となつていて、

●新神戸オリエンタルホ  
テルからのお知らせ

新神戸オリエンタルホ  
テル劇場で7月4日から  
10日まで公演される「イ  
サドラ When She Danced-  
」主演の元宝塚歌劇団出  
身の麻美れいさんを迎  
ての特別企画、「麻美れ  
いを囲んで楽しむ会」が  
行われる。



## NEWS

### ★神戸風月堂の

#### 和菓子教室

4月11日にオープンし  
た、こうべ甲南「武庫の  
郷（さと）」の甲南カルチ  
ャー俱楽部で6月より神  
戸風月堂の和菓子教室が  
始まる。

講師は風  
月堂で長  
年、和菓  
子の研究  
開発を担  
当してい  
る田村千

城（たてき）さん。日本  
独特の色、季節感を取り  
入れながら和菓子づくり  
を楽しめる。持ち帰り容  
器も持参できる。毎月第  
2金曜日の10時から13時  
まで。受講料は月額30  
00円。受講生を現在募  
集中。なお甲南カルチャ  
ー俱楽部会員（年会費3  
000円）のみ受講でき  
る。

■お問い合わせ先

こうべ甲南「武庫の郷」  
神戸市東灘区御影塚町4・  
4・8  
078・842・2508



麻美れいさん

公演中のエピソードも  
交えた歌とおしゃべりが  
楽しめる。

日時／7月8日（火）午後  
6時30分～8時30分  
開場／新神戸オリエンタル  
ホテル10F真珠の間  
料金／お一人様10,000円  
税金／サービス代込み  
内容／バイキング、フリー  
ドリンク付き





エビス生ビールは380円



竹尾真美ママ

れな居酒屋さん。サラリーマンだけでなく、若い女性にもうけるお店だ。おススメは、元町エビス特製唐揚げ(380円)、スルメイカの韓国キムチ風(280円)、スモーカタン(480円)に日替わりメニューなどがある。

JR元町駅前という利便性を活かして、会社帰りに立ち寄るのもよし、仲間でパーティを企画するもよし、楽しみ方はいろいろ。感じのよい店員さんが出迎えてくれる。

■元町エビス  
営業時間16時～24時  
ダード～23時 年中無休

★六甲坂道を祝う花畑・  
生田新道に朗らかな歌声

「三宮にもネオンをひとつ  
灯したい」。店いっぽいに理  
め尽くされたお祝いの花畑の  
なかで、にっこり話すのは

■六甲坂道

神戸市中央区下山手通2-11-1  
KSMビル4F  
078-3334-3333

営業時間18時～24時  
日休

★震災から復活 生田新

道店オーブン 居酒屋品屋屋グループのオ



インド職人の本場の味を

「六甲坂道」のママ竹尾真美さん。3月26日、生田新道のKSMビルにオープンした。

もともと阪急六甲にあった

お店ではお母さんの天美さんがきりもりしていた。新しい店を真美さんへバトンタッチ、親子二代にわたるお店と

いうことになる。「陽気に楽しくやつてください」と静かに六甲のお店とうつて変わつて、カラオケを設けた。

26日には同じKSMビルに「終(ひいらぎ)」がオープン。ビルの被害が特にひどかつた生田新道に歌声が朗らかに響きわたる。

■六甲坂道

神戸市中央区下山手通2-11-1  
オリエンタル・スク生田新道店  
078-3334-3333

営業時間18時～24時  
日休

■東方味市場

神戸市中央区下山手通2-11-1  
KSMビル4F  
078-3334-3333

営業時間18時～24時  
日休

りエンタル・ステーキが、4月  
10日神戸サウナビルB1にオ  
ープンした。同店は以前北野  
坂にあったが、震災で全壊。

このほど生田新道で再開し  
た。

廣々とした店内には滝が流  
れ、異国情緒たっぷりの調度  
品に、気分はまさに「オリエンタル」。本物のエスニック  
料理を低価格で「おつしや  
ンタル」。本物のエスニック  
料理を低価格で「おつしや  
ンタル」。

「お読みと訂正」

4月号に掲載いたしました「ビ  
ストロ大平亭」の掲載事項に誤り  
がございました。

営業時間は、ランチタイム11時  
30分～14時30分、ディナータイム  
17時～22時(ラストオーダー21  
時30分) 年中無休となつております。

■ビストロ大平亭 神戸市中央区  
北長狭通2-9-9 デザフィオ  
サンコービル1F  
078-3993-3590

■ランチコース ¥1500(サ  
ラダ・スープ・肉か魚・パン・コ  
ーヒー・アイスクリーム)

¥2300(サラダ・スープ・肉  
と魚・パン・コーヒー・アイス  
クリーム)

(オードブル・スープ・パスタ・  
アイスクリーム・肉か魚・パン・  
コーヒー・デザート)

¥3800(オードブル・ス  
ープ・パスタ・アイスクリーム・肉  
と魚・パン・コーヒー・デザート)

リエンタル・ステーキが、4月  
10日神戸サウナビルB1にオ  
ープンした。同店は以前北野  
坂にあったが、震災で全壊。

神戸サウナビルB1  
078-334-0700

営業時間 日～木/17時～24時  
金・土・祝日前/17時～3時(各  
曜日ともオーダーストップは終了  
1時間前)

## ポケット ジャーナル



### ★フランス災害救助犬チー ム来日



左からコスト氏と大山本部長

彼らの災害時の迅速な救助活動に驚かれた人も多いだろう。そこで、災害救助犬の活躍がまだ浸透していない日本で、世界でもトップレベルのフランス救助犬の活躍を知つてもらい、その理解を深めて

もらおうと、5月24日、25日の両日、救助犬の公開デモン

ストレーニング及びCOSI会長、ルイ・コスト氏、指導教官・フランスワーズ・ロストラント氏の講演会が開催される。

●災害救助犬の公開デモンストレー

ション

とき 5月24日 (土) 10時

ところ 兵庫県三田市災害トレーニングセンター 三田市上内神学

長井1208-1

●講演会テーマ「フランスにおける災害救助犬の全貌と海外での活躍」

講師 COSI会長ルイ・コスト氏、指導教官・フランスワーズ・ロストラント氏

とき 5月25日 (日) 13時～17時

ところ 神戸新聞松方ホール

☎ 078-362-7111

★サントリーレディスオープンギヤラリー招待券プレゼント

日本女子プロゴルフ協会公認競技「We Love KOBE サン

トリーレディスオープングルフトーナメント'97」が、来たる6月11日(木)にアマプロ

■応募締切 5月31日(必着)  
HHD「サントリーレディスオープントーナメント」月刊神戸「子係」までお送り下さい。  
8時～30時 OAPタワー3階  
〒530 大阪市北区天満橋1  
■お問い合わせ サントリーレディスオープントーナメント事務局 ☎ 06-3446-1238

誕生日ありがとう運動本部  
〒650 神戸市中央区橋通4-2-2  
菊水模型ビル3F (淡川神社西)  
TEL・FAX078-360-1269

チャリティーナメント、12日(木)～15日(日)に予選決勝ラウンドとして兵庫県・有馬ロイヤルゴルフクラブで開催される。

★誕生日ありがとう運動  
大泣き大歓迎

1990年にスタートしたこの大会は、タレントや文化人が数多く参加する華やかなアマプロチャリティーナメントなど、多彩な企画でゴルフファンには好評。

今年も、野球評論家の大沢啓一さん、山本浩一さんははじめ、「のほほん茶」のC.F.でお馴染みの市田ひろみさんなど、豪華メンバーの参加が予定されている。

今回は、このトーナメントのギャラリー招待券を読者にプレゼント。詳しくは左記の通り。

●プレゼント  
「We Love KOBE サントリーレディスオープン'97」のギャラリー招待券(5000円相当)をペアで10組20名様。

■応募方法 官製はがきに  
レディスオープン'97」のギャラリー招待券(5000円相当)をペアで10組20名様。

「We Love KOBE サントリーレディスオープン'97」のギャラリー招待券(5000円相当)をペアで10組20名様。

HHD「サントリーレディスオープントーナメント」月刊神戸「子係」までお送り下さい。  
8時～30時 OAPタワー3階  
〒530 大阪市北区天満橋1  
■応募締切 5月31日(必着)  
HHD「サントリーレディスオープントーナメント」月刊神戸「子係」までお送り下さい。  
8時～30時 OAPタワー3階  
〒530 大阪市北区天満橋1  
■お問い合わせ サントリーレディスオープントーナメント事務局 ☎ 06-3446-1238

M学園の小さな小さな子供達。毎週ボランティアのおばさん達と一緒に、山登りをします。歩行困難な子は学園のまわりを歩く程度。元気いっぱいの子は高取山の頂上まで走り登ります。ボランティアさんの体力に合わせて子供が担当されています。

4月。これまでの1年間、一緒に歩く子供達との対面です。子供にとっては全くの知らない人。安心できる人なのかどうか、わかるはずもありません。先生に説得されながらも、何が何だかわからぬまま山登り散歩がながります。

山の中に入ると木は生じ茂り、うす暗い雰囲気です。道も人も通れるくらいの細い道。大泣きの要素じっぱりです。泣いて当然。言葉の出ない子供たちは、どうして気持ちは泣いてるのか、泣く、おこる・甘える等の身体表現です。大聲を出したたり、つかんだり、かんたつ、投げたり、これこそ子心の信号なのです。大泣きしている子は、「うわいよ、しんどいよー」と、訴えているのでしょうか。気持ちを表現できることは、とても素晴らしいことです。私は思っています。大泣き大歓迎です。

「うわいよ、しんどいよー」と、訴えているのでしよう。気持ちを表現できることは、とても素晴らしいことです。私は思っています。大泣き大歓迎です。







# K.F.S. NEWS <sup>176</sup>

神戸ファッション市民大学OBによるグループ

神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18  
ツインストアビル4F 月刊神戸っ子内  
TEL.078-331-2246

## ●会員ショップシリーズ「メンズファッションブティックカタライザ・中村理恵さん」 女性ならではの感性を生かせるメンズショップに…

KFSでは副会長で総務を担当する中村妙子さん的一人娘、理恵さんが短大を卒業してお店を手伝いはじめたのは、今から3年前。ファッション好きだが、業界の知識は皆無だったという理恵さんは、まさにこの世界に入ってから毎日が勉強の連続だったそう。

\* \*

—お客様に楽しんで買ってもらえるお店にしなさい。それが社会人としてスタートした時に言われた最初の言葉。今でもこれは、常に心がけています。カジュアルスーツを主体とした品揃えで、客層は、20代後半から30代前半の男性が中心のお店をまかされている。

—お客様との会話が大切。はじめてのお客様との接点を見つけることが難しいですね。お店に入ってこられて、一番最初に手に取られた商品のカラーやデザインは、その人を店に呼び込んだ大切な要素。見ていることを悟られないように、お客様の一挙手一投足をチェックして、好きなファッションラインを瞬時に判断し、そこから会話の糸

口を見つけます。

—今、悩んでいるのは、ネクタイの合わせ方。好きな柄と似合う柄、ビジネスにふさわしい柄がなかなか一致しなくて。男性社会のことがわからずにチグハグな柄を選ばないように。女性ならではの視点で、合わせ方ひとつでその人の個性を引き立てるお手伝いができるようになればうれしい。

とはいえる異性のファッション。わからないことは、メンズ雑誌で調べたり、友人や知人に聞いたり、街行く人を観察したり。現在の自分への課題として研究は欠かさない。

店内のディスプレイは、毎日模様替え。スタッフの及川さんが中心となり、ターゲットの年齢をはっきりさせた陳列を心がける。なぜこの商品が目についたのか、なぜ手にしてもらえたか。ここでもお客様の行動から、現在の展示方法の反省、次の提案に結びつくヒントを探し求める。

—先日あそこに掛けてあったセーターは?と尋ねられても、毎日変えているのでわからない!なんて失敗も(笑)。でもお客様がお買い物以外でも楽しめる遊びの空間も必要だと思うから、ディスプレイには、ことのほか気を使っています。

英字新聞、フランス映画のフィルムとこだわりのディスプレイ小物から、会



話の花が咲くことも。

会社の仕事。KFSの仕事と連日連夜忙しく飛び回る母親を見ていると、自分もウカウカしてられない、もっともっと努力しなければ、と仕事への意欲が湧いてくるという。

店名「カタライザ」が意味する「ファッション情報を服を媒体として顧客に伝えよう」という思いは、理恵さんの一生懸命な接客、こだわりのディスプレイから伝わってくるようである。

●MEN'S HOUSE GROUP Catalyzer  
神戸市中央区三宮町1-8-1-116

TEL 078-331-3915

■5月マンスリー講座  
『ショッピングマナーについて』

講師：池本義治氏（大丸神戸店）

中村妙子さん（メンズハウスグループ代表）

山下みか子さん（ル・ヴェール代表）

日時：5月23日（金）18:30～

場所：神戸市勤労会館



# 「明日へ！ 神戸」

## ヴィッセル神戸の大きな船出

牛尾 淳

（AM神戸アナウンサー）



月刊神戸っ子サンバチーム  
も応援に



「明日へ！神戸」の横断幕をかけ、鹿島へ応援に駆けつけたヴィッセル神戸のサポーター

4月16日（水）、神戸ユニバー記念競技場。Jリーグ昇格1年目のヴィッセル神戸が明日に向かって歴史的な一步を標した。

キャプテン永島昭浩の劇的な延長Vゴールで昨年2位の名古屋グランパスエイトを下し、Jリーグ初勝利を飾った。Jリーグ2試合目、しかし

もホーム開幕

戦での勝利に喜びに酔いしれ

た。

ヴィッセル

神戸誕生から

3年目。様々

トを克服し、

着実にチーム

力をアップさ

せてきたバク

スター監督と

4月12日Jリーグ開幕、鹿島アントラーズ戦。ビッケルの先制ゴールに大喜びの永島キャプテン



さらに、応えた選手たち、それにサポーターの後押しでつかんだJリーグ初勝利だ。

### ナビスコ最終戦で公式戦初勝利

Jリーグに昇格したヴィッセル神戸は、1月18日にどこよりも早くチーム作りをスタートさせ、2月8日から20日までオーストラリアキャンプを行つた。

JFLからJリーグへと舞台が変わつたことで戦術も修正が必要だ。パクスター監督は「Jリーグでは攻め込まれるケースが多くなるだろう。そういう時にどう対処するかといふバランスの修正、それに対する戦術の修正をしていかなければいけない」とキャンプに臨んだ。

このキャンプを経て、3月にはヴィッセル神戸にとつて初めてのJリーグ公式戦となるナビスコカップが

始まつた。

3月8日の予選第1節、アウエーでの対柏レイソル戦では、Jリーグの速さに付いていけなかつたのか、柏にまつたく歯がたたず1・5と完敗を喫してしまつた。

3月15日、地元神戸でのJリーグ公式戦の開幕となつた名古屋グランパス戦は、先制されたものの、後半永島のゴールで同点とし引き分けた。

3月19日、サンフレッチェ広島戦。永島を欠いたヴィッセル神戸は0・1で広島に敗れてしまつた。

3月22日、再び名古屋グランパスと対戦。0・3で完敗。予選リーグ敗退決定。

3月26日、サンフレッチェ広島戦。常に先手をとるも2・2の引き分けに持ち込まれてしまつた。そして3月29日、ナビスコカップ最終戦。神戸ユニアーニ記念競技場での対柏レイソル。前半は互角の展開で0・0。後半柏のエジウソンに弾丸シュートを決められたが、ラウドルップが同点ゴール。終了間際には

昨年のチーム得点王ジアードが逆転ゴールを決め、Jリーグ公式戦初勝利を手にした。しかし、この初勝利を目にした人はわずかに1740人。Jリーグ公式戦最低記録だつたのはあまりにも寂しい。

試合後バクスター監督は「ナビスコカップを通じて成長がみられた。DFや組織力、FWへのコンビネーション、サポートプレーも向上して



4月16日名古屋グランパス戦。ラウドルップ(左)ビッケル(右)が大活躍しJリーグで初勝利を納めた



3月8日ナビスコカップ第1節柏レイソル戦。1対5で完敗

いる。リーグ戦に入つても、きょうのようなゲームができたら面白い1年になるだろう。」と締めくつた。

## Jリーグ2試合目で初勝利

そして4月12日いよいよJリーグが開幕した。ヴィッセル神戸の初戦の相手は昨年のチャンピオン鹿島アントラーズだ。

大半の人が鹿島の一方的な展開を予想していたが、先制したのはヴィッセル神戸だつた。前半24分FKをビッケルが得意の左足で直接ゴールを決めた。

33分に同点とされたが、38分にはミスター・ヴィッセル永島がラウドルップからのワンツーパスを見事に決めて2・1と再びリード。しかし、前半終了間際に追い付かれ、勝負は後半へ持ち越された。

後半は、さすがに昨年の王者と思わせる速攻で鹿島アントラーズが開始早々に立て続けに2点をゲットし、勝負がついた。

力と経験の差が現れた試合だつたが、カシママサッカースタジアムに詰めかけた数少ないヴィッセルサポーターは前半の戦いぶりに大いに満足し、惜しみない拍手を選手たちに送つていた。

そして、ホーム開幕となる4月16日、相手はナビスコカップから3試合目の対戦となる名古屋グランパスエイト。鹿島戦の前半の戦いぶりか



3月25日ナビスコカッペリ選番サフレッシュ広島戦でのヴィッセル神戸、スタートティングメンバー。マスコットのモーヴィも一緒だ。左上から、石末、ジード、ラウドルップ、ビッカーリ、森、左下から神戸、吉村（歩）、吉村（光）、幸田、内藤（直）

ら、この試合でひよ  
つとしたらという期  
待感がスタジアム全  
体を覆っていた。

もベンチのバクスター監督も同じだった。

この試合ではメンバーからはずれた和田昌裕も「名古屋戦は、みんな気持がはいっていた」と振り返つていたが、この試合では気持がきれるることはなかつた。

入

Jリーグ初勝利をあげたノクフタ  
一監督は「前半は鹿島戦と同じよう  
にきつちりとできた。後半は組織力  
が落ちた時間帯があったが、落ち着  
きを取り戻した。自分たちを信じて  
やれば、十分にJリーグでも勝つて  
いくことができる」と手応えを掴ん  
だゲームだったようだ。

しかし鹿島戦同様、終了間際にCKから得点を許し同点で折り返す。鹿島戦が頭をよぎる。これはピッチにいる選手

「明日へ！  
神戸」

ぶきの森にあるヴィッセルの練習グラウンドを訪ねた。

グラウンドにはデンマークのテレビ局とスイスの雑誌社が取材に来ていた。

日本のJリーグでプレーしている母国のスターであるラウドルップ

とピッケルの取材をするためである。

さらに、前日の試合を観戦したデンマークナショナルチームの首脳陣の顔もあった。ラウドルップだけを見に来たというヨハンソン監督はラウドルップのプレーについて「よく動いていたし、有効的なパスを出していた。代表としてプレーすることに何の問題もない」と満足気だった。

そのラウドルップも含め前日試合に出場した選手たちはランニングとストレッチだけで、この日の練習を終えた。表情をうかがうと皆一様に引き締まった表情をしていた。ひとつ勝つただけでうかれてなどいられないという気持ちと、Jリーグで勝つことの難しさを改めて感じているのかもしれない。

そんななかで私はある一人の選手のこと気が気になっていた。和田昌裕である。

AM神戸では、和田とGKの石末戸応援番組「和田・石末のヴィッセル・スタジアム」を毎週火曜日夜10時30分から放送している。私はその番組の担当ディレクターということでも、どうしても一人に関しては入れこんでしまう。和田は永島、石末と



「いつでも出られる状態にある」と和田選手（左）。牛尾淳アナウンサー（右）



デンマーク代表チームのヨハンソン監督（左）はバクスター監督（中）とも旧知の仲



ラウドルップとピッケルの取材をするデンマークのテレビ局

同期でJリーグでの経験も豊富だ。

その和田の名前は名古屋戦ではメンバーリストになかった。和田は歴史的な1勝をビッグではなく、メインスタンンドのブースで味わっていた。

和田は「Jリーグに帰ってきて、試合に出られないのは正直って寂しい。しかしサッカーというのは11人だけでしているわけではないし、チームとしては誰が出ても戦力が落ちないようにならないといけない。先は長いし、自分としてはいつでも出られる状態にあるし、まったく心配していない」と私に心境を話してくれた。

私もひいき目ではなく、必ずや和田の力が必要になる時が来ると信じている。

楽しみめるサッカー、勝つサッカー、バランスのとれたサッカー、ベストを尽くすサッカーをサポーターにアピールしていきたいというバクスター監督。

ヴィッセルの航海はこの先はたしてどんな航海になるのか。

グラウンドの片隅から「まだまだ冷靜さと集中力が必要」という中村勤強化部長の鋭い視線が向けられて確実に一步を踏み出した。

「明日へ！神戸」

連載小説第1回

屋上のシーラカンス

木村 光理

絵／森澤 達夫



彼は机の引き出しから天国の扉の鍵を取り出した。：

：天国？ そう。彼の住むアパートでは、屋上のことをみんながそう呼んでいた。アパートの住人はみんな愚かで尊敬できる連中だった。その日、彼は屋上へ続くひび割れたコンクリートの階段を駆け上がった。なぜかって？ 天気がよかつたから。階下での生活に煮詰まつたら。或いは、虫の知らせというやつ。どれだか彼にははつきりと説明はつかなかつたが、とにかく何かが彼を屋上に誘つたのだ。

緑のベンキが半ば剥げ落ちて内側の錆びついた金属が覗いている天国への扉。重さ二トンはあるだろう重厚で崇高な扉。その前の二メートル四方のスペースには煙草の吸い殻やシンナー遊びに使つたビニールの袋や使用済みのコンドームや乾いた人糞が散らばり、小便の臭いがほんやりと立ち込めている。

#### いつもの聖域の風景。

彼はこの光景を何枚も写真にとつてアルバムに収めていた。部屋の壁にも引き伸ばした写真を何枚か飾つていた。写真にリアリティをつけるために、アンモニアも振りかけた。

もちろん、扉の周りのひび割れた壁は、抽象から具象まで様々のスタイルで描かれた性器や性交の絵で埋まっている。コンクリートが剥き出しの天井からは一応裸電球が一つぶら下がっているが、こいつはスイッチを入れても、もちろん電気はつかない。ここはそんなやわな場所じゃない。だから、この辺りの暗闇が嫌いなら、辺りを這い回る夥しい数の蜘蛛やゴキブリが嫌いなら、ここにはこないほうがいい。彼はしかしこの場所をこよなく愛していた。彼だけでなくこのアパートの連中はみんな。ここに立つと、パロックの調べが頭の中に響き始める。ああ、なんて天国の入り口にふさわしい場所なんだろう。錆びついた鍵を回し、ノブを掴んで外側に押すと、扉

は軋んだ音をたてて開いた。

扉のこちら側が薄暗い闇の空間だったのに、向こう側は光の洪水。太陽に照らされてなにもかもが白くキラキラ光つていて。ほんとうにこの光はパラダイスの光。素晴らしいすぎて、その中に足を踏み入れることに躊躇を覚える。彼はしばらく足踏みを繰り返す。だが、三十六歩目に決心する。

ためらいなんてくそくらえ！

屋上に立つた瞬間、爽やかな風が吹き過ぎていくのを彼は自分の皮膚で感じた。なんて素晴らしい大気なんだろ。こんな上等の風が吹いてるなんて。地上にいては絶対に味わえない。風は甘酸っぱいカルピスの匂いさえ含んでいる。こんなにおいしい空気があれば、いつだつて腹は空かない。風の道の真ん中に立ち、大口を開けて流れてくる空気の中のブランクトンを食らえばいいんだから。そう。彼には風の道がくつきりと見えた。薄くなりかけた頭髪の遥か上空で交差する二十三本の道。

彼は屋上を歩き始めてすぐにワオー！と叫んだ。昨夜の雨の名残りが屋上のコンクリートの表面に点々と水溜まりをつくりていたのだ。高価なスポーツシューズを履いた彼は慎重にちっぽけな水溜まりたちを避けた。その水溜まりの一つにアメンボウが一匹浮かんでいた。発見の喜びに、ワオー！と彼はまた叫んだ。どこからやつてきたのだろう？ 空からか、それとも自然に発生したのか。いずれにしても、それらはゴミではなく、アメンボウには間違いない。自分でしっかりと動いているのだから。りつばな奴らだ。こんなところまで進出してくるなんて。きっと勇気がいつたに違いない。フロンティアスピリット、開拓者魂をもつたアメンボウに万歳！

彼は、コットンパンツの尻ポケットから、ウイスキーのポケット瓶を取り出すと、キャップを開け、そのままぐいっと口に運んだ。

### アメンボウに乾杯！

しかし、この勇氣ある二匹には悲惨な運命が待つてゐるだろう。空からこんなに激しく太陽が照りつけているのだから。この状態はアメンボウにとって最悪だ。直視できないほど激しく照りつける光。こんなのがそのまま続くと、そのうち水溜まりは完璧に干からびてしまうだろう。保証していい。そうなると、どうなる？ アメンボウにはクモや糸トンボに変わるとか道はない。……まあ、それはそれでいいのかもしれないが。勇氣ある、しかし不幸なアメンボウに乾杯！

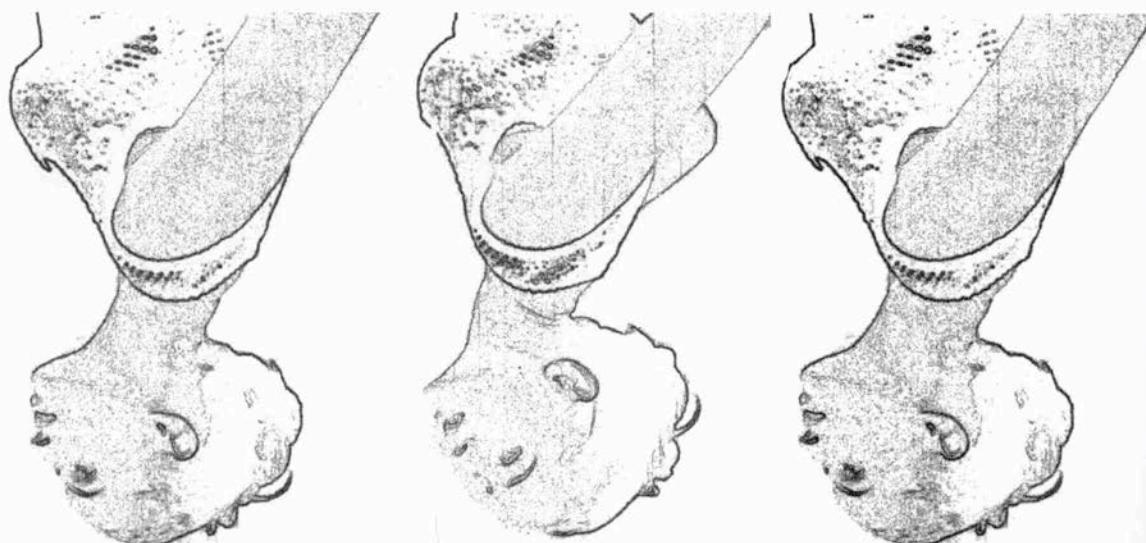
彼はウイスキーを一呑みし、偉大なアメンボウたちに称賛の言葉を吐き、称賛の踊りを踊った。もちろん自家製の、ハンドメイドのダンス。彼はスキップを踏み、横に伸ばした腕を上下させながら、水溜まりの周囲を左回りにくるくる回る。途中で少しタップも踏んでみる。そのほうが少し変化が……しかし、彼は立ち止まる。どうしてもつときちんとタップを習わなかつたんだろう。もっとタップをきちんと踏めたなら俺はこんなところにいなかつたかもしれない。カメルーンや象牙海岸でタップの踏める日本語教師として売り出していたかもしれない。

こんなところでダンスなんて踊つていつたい何になるの？ 別れた女房のサキなら必ずそう言うだろう。もちろん、何の意味もない。でも、何の意味もないことでもやりたくなる時もあるのだ。あいつにはそれがわからなかつた。あいつは生まれつき右足が不自由だつたが、素晴らしい脚線美を持っていた。なのに、あの曲がりくねつた心はなんだ……馬鹿野郎！ 天国は二物を与えずだ。くそ！ くそ！ くそ！

俯き加減の心のまま彼は屋上の床に目をやる。天国の床には、あちこち大きな亀裂が走つてゐる。この間の馬鹿でかい地震のせいだ。あの地震はこの街の至る所に亀裂を走らせた。居酒屋の看板にも、保育園児の小さな魂にも、百歳を越す老人の背中の瘤にも、厚化粧の女の顔面にも。あの地震の後すぐ、このアパートは全壊と認定された。天下晴れて「全壊」。それでもア

けている。この屋上、つまり天国も同じこと。この幾何学模様の亀裂たちを見よ。マンデルブロー集合のような亀裂たちを見よ。

彼は亀裂の一つに近づき、床に腹這いになつてその中をのぞき込む。本もアメンボウもなかつたが、代わ



パートは倒れずにいて、みんなそのまま住み続けていた。部屋の壁や天井や廊下や階段とにかく至る所に亀裂が走り、至る所でコンクリートが崩れ落ちている。それでも、何の手も加えずにみんなそのまま暮らし続



りに下着や週刊誌が詰まっている。その中から女モノのピンクのパンティをつまみ出すと、彼は匂いを嗅いだ。湿った雨の匂いがした。彼はそれを尻ポケットに押し込んだ。このパンティをサキに郵便小包で送りつけよう。あいつはきっと感動してくれるだろう。駄目？ そうかもしれない。むしろ、きっと怒り狂うだろう。でも、天国のパンティ。それも亀裂の中から見つけだしたやつ。たしかに値打ちはある。付加価値はある。サンドペーパーで局部に磨きをかけておけばさらに結構。

彼は、腹這いの姿勢から一気にびいっと立ち上がり、直立猿人を氣取り、空に向かって大きく欠伸をする。それから、深呼吸を繰り返し、酸素不足の金魚のように大量の酸素を吸い込む。

その時、風の音に混じり、階下からミュージックが立ち上つてくるのに彼は気づく。音楽には沈み下降していくものと、高みへと上昇していくものの二種類がある。その分岐点にあるのが彼の心の音楽だ。アパートの真ん中の階にいる彼は、いつも混沌の音楽を奏でた。だが、今の彼は違つた。彼は最も高みにいる。だから、音楽はひたすら上昇してくるのみ。

いいのだろうか、これで？ こんな恵まれた環境に自分がいて本当にいいのだろうか？ これは幻聴ではないのか？ 本当に現実の調べなのか？

それは半ば祈つていてるような、半ば叫んでいるような、少し嘆き、快感に酔つてもいるような奇妙な調べ。聞いているだけで、心も体も塩漬けにされたナメクジのように溶解してしまいそうになる。

このミュージックの発生源は彼の隣室のアヒル飼いの九鬼さんだつた。あの人はいつだってこんな奇妙な音楽に浸つていて、独自の音階に独自のリズム。一種の呪文のような、一種の読経のような、限りなく宗教に近い音楽。そのミュージックに耳を傾けている彼の脳裏に別れたサキの姿が浮かぶ。

どうして別れなくてはならなかつたのか？ 二人でいるより一人のほうが本当に自由なのか？ たつた一人で生きることはつらくなはないのか？

それが突然。

何故？

いいんだ。なんだつていいんだ。

何とかしなきや。もしかしたら、それは生活力の問題かもしれない。現状打破。なんとも困難な響き。でも、それはあり得そうな気がする。

彼は腕時計を見る。午後二時。今頃、サキは真新しい高層ビルの三階にある井上歯科の治療室で、不自由な足を引きずりながら懸命に働いているだろう。懸命が趣味の女性。青白い螢光灯の光の下、いつだつて手の震えのおさまらない高齢の先生の助手として、歯の形をとり、セメントを練り、器具を消毒し、レントゲンをとり……：あーあ。こんなはずではなかつたのだ。生活とはこんなものではなかつたはずだ。馬鹿みたいに派手な結婚式はいったい何のためにあつたのか。恥ずかしさを味わうために？ そうかもしれない。あの馬鹿げた結婚式からまだ幾らもたつてない。性格の不一致？ 一致する性格とはなんなのか？ 性の不一致？ そんなことはあり得ない。ほとんど毎日のように濃密なセックスを繰り返していたのだから。互いにくたくたに疲れるまでの無制限一本勝負。

まあいいか。まあいいんだ。なんとかなるさ。でも、やつぱりよくない。サキは出ていった。何の理由も言わずに。……しかし、理由なんて必要ない。そうだ。そういうなんだ。なんとかなる、すべては。

（以下次

